

# 週間漁海況情報 2022年第10号

令和4年3月8日発行

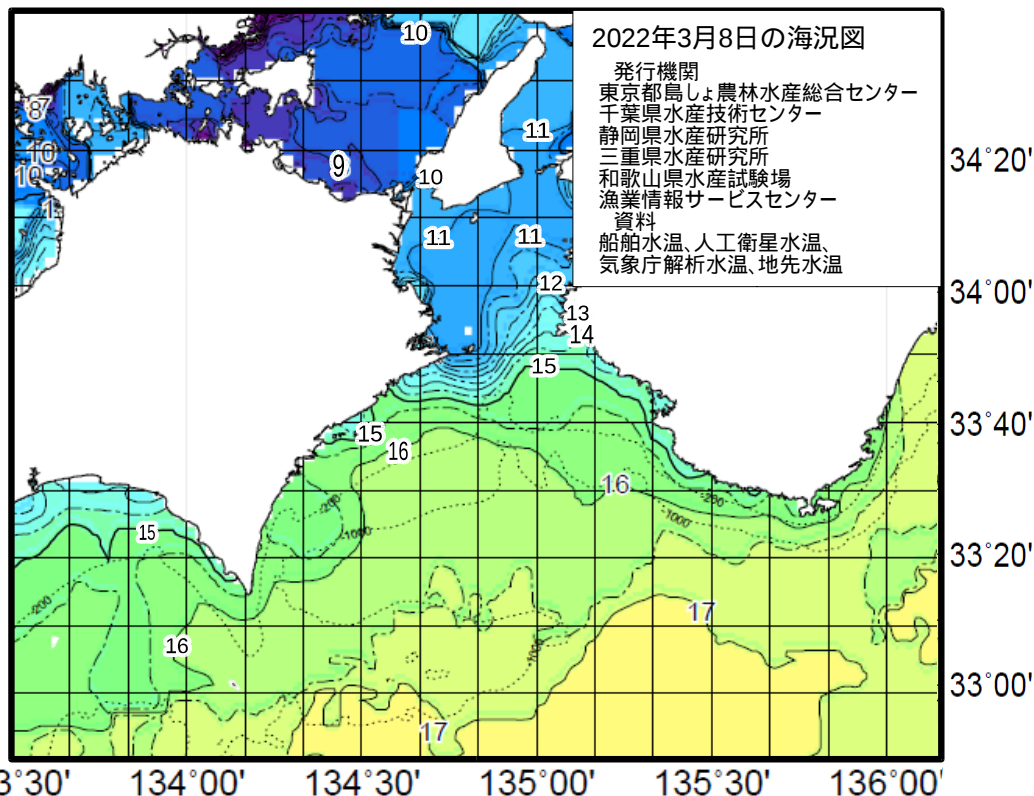
## 海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖128マイル、潮岬沖121マイルを流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」している。このため、黒潮から紀伊水道外域への暖水波及は引き続き弱い。外域は上灘を除いて15,16 台の水塊に覆われている。

黒潮の表面水温は19,20 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が8~9 台、紀伊水道が10~12 台、海部沿岸が11~16 台となっている。



#### 黒潮の離接岸の表現

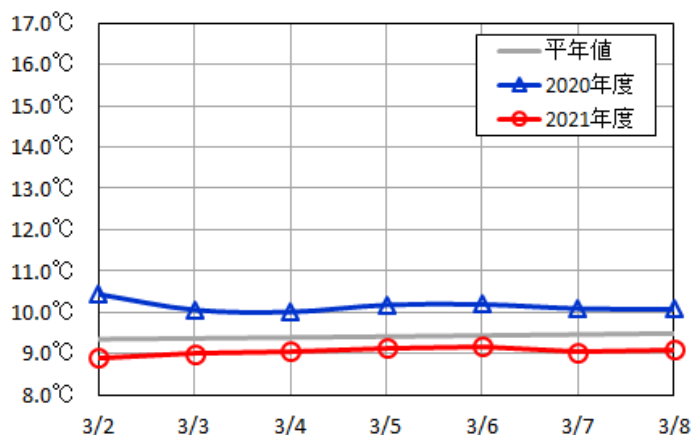
(いずれも正南方向)  
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~  
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~  
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

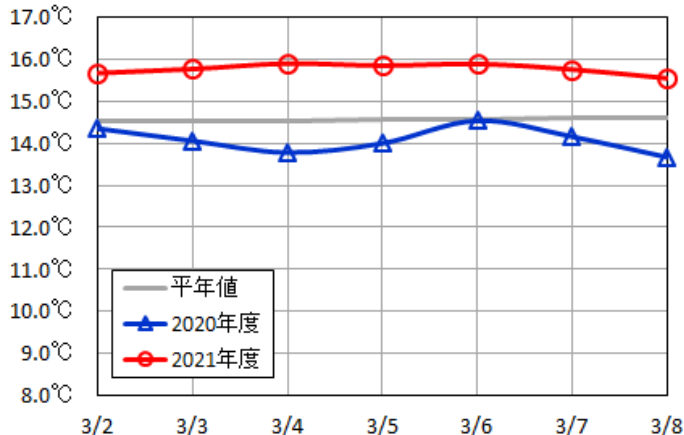
### 2. 地先水温(3月2日~3月8日)

鳴門地区の水温は8.9~9.1 で「平年並み」、日和佐地区は15.9~15.6 で「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は6.8~6.5 となった。

#### 鳴門地区



#### 日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値±0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5 以上1.5 未満  
高め/低め: 平年値±1.5 以上2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5 以上

平年値 1984年~2018年の平滑平均値

### 3. 週間予報(3月9日~3月15日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」から「やや高め」、日和佐地区は「やや高め」に推移する見込み。

**漁況** (2月28日～3月6日)

**1. 紀伊水道 (標本漁協：4)**

延縄では、ブリが増えてめじろ級主体に1.2ト、シマフグが0.5ト、サワラが0.2ト、ムツが小主体に0.2ト水揚げされた。

建網では、メジナが大きく増えて0.7ト、タカノハダイが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリがめじろ級主体に0.7ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが大主体に1.2ト、マダイが増えて0.8ト、シリヤケイカが大きく増えて0.6ト、えそ類が大きく増えて0.3ト、さめ類が増えて0.3ト、ホウボウが増えて0.2ト水揚げされた。

**2. 海部沿岸 (標本漁協：4)**

釣りでは、ブリが増えてめじろ級主体に7.2ト、タチウオが大きく減って0.6ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが0.3ト、ムツが大きく増えて小主体に0.2ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく増えて1ト、マアジが大きく減って小アジ主体に0.3ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	延縄	40	ブリ	1,201	30	めじろ級主体	
		28	シマフグ	530	19		→
		22	サワラ	234	11		→
		12	ムツ	207	17	小主体	→
	建網	49	メジナ	665	14		
		38	タカノハダイ	219	6		→
	小型定置網	10	ブリ	732	73	めじろ級主体	→
	底びき網	41	コウイカ	1,198	29	大主体	→
		31	マダイ	770	25		
		24	シリヤケイカ	636	27		
39		えそ類	318	8			
12		さめ類	256	21			
	36	ホウボウ	232	6			
海部沿岸	釣り	72	ブリ	7,165	100	めじろ級主体	
		18	タチウオ	627	35		
	小型定置網	9	カタクチイワシ	314	35		→
		10	ムツ	226	23	小主体	
	大型定置網	4	ブリ	993	248		
		4	マアジ	256	64	小アジ主体	

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: